



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

9月定例市議会閉会 「コロナ対策強化」意見書を採択

9月20日、9月定例市議会が閉会しました。市長提出議案27件はすべて可決成立しました。日本共産党市議団は、12月2日以降「被保険者証」の文言を条例から削除する国保・後期高齢者医療条例の改定、一般会計・特別会計決算など9件に反対しました。

学校優先温水プール 全会一致で採択

市民からの請願は新日本婦人の会から提出された「学校優先プール」の設置を早急に実現することを求める請願が

全会一致で採択されました。

学校プールが老朽化し、いくつかの学校で水泳授業に支障が出ています。今は民間プールを借用していますが、市が「学校優先温水プール」を設置して水泳授業を実施し、学校で使われないときは市民に開放する方向で「基本構想」を策定中です。

議会としても「温水プール(学校教育優先)の早期整備を求める決議」を全会一致で採択しました。

選択的夫婦別姓制度 自民も維新も反対

市民からの請願は新日本婦人の会から提出された「学校優先プール」の設置を早急に実現することを求める請願が

●請願と党市議団提案の意見書に対する各会派の賛否

	請願	党市議団提出の意見書				
		学校優先温水プール早期設置を	コロナ対策の充実	国立女性教育会館一部廃止の撤回を	選択的夫婦別姓の早期導入を	引き上げ撤回を
日本共産党(4)	○	○	○	○	○	○
自民・無所属の会(8)	○	○	×	×	×	×
次世代かすかべ!(6)	○	○	×	×	×	×
公明党(6)	○	○	×	○	×	×
立憲民主党(1)	○	○	○	○	○	○
日本維新の会(1)	○	○	×	×	×	×
無所属(榛野)	○	○	×	×	×	×
無所属(酒谷)	○	○	×	×	×	×
無所属(古沢)	○	○	○	○	○	○
結果	○	○	×	×	×	×

● 日本共産党市議団は、議案提案権を活用して国や県に対して以下の5件の意見書を提案しました。(結果は左表)

● 新型コロナウイルス治療薬とワクチンの負担軽減、医療体制の強化を求める意見書

● 独立行政法人国立女性教育会館の研修・宿泊機能等廃止の撤回を求める意見書

● 選択的夫婦別姓制度の早期導入を求める意見書

● 気候危機打開に実効ある見直しを求める意見書

● 第7次エネルギー基本計画策定にあたり、気候危機打開に実効ある見直しを求める意見書

<生活相談は日本共産党へ>

並木としえ TEL737-4576 大野とし子 TEL746-6136 今尾やすのり TEL761-3676 木下みえ子 TEL734-4677
日本共産党市議団ホームページ <https://www.jcp-kasukabe.jp/>



木下みえ子議員一般質問



多様な市民参加で気候危機対策を 側溝のふたかけで交通環境整備を

9月12日、木下みえ子議員は①春日部市の温暖化対策について②側溝のふたかけで安心安全な通行を、の2点について一般質問をおこないました。

27年度38%削減へ 目標見直し

市では令和4年「みんなで取り組む春日部市地球温暖化対策実行計画」の中間見直しで、ゼロカーボンシティ宣言を反映した新たな温室効果ガス排出量削減の

目標値設定を行い、2027年に38%、30年に46%、50年に実質ゼロを目指しています。木下議員は、市の温暖化対策であるかすかべモデルの5つの施策について市の認識を質しました。

・ PPA方式はエネルギーの地産地消につながるのか。
・ 事業者への再エネ導入支援、相談体制を求める。

・ 家庭向けの太陽光発電・蓄電池上乘せ補助で短期目標へ加速化を。

・ 再エネ・省エネ利用の補助対象の拡大を求める。

・ 長期的な脱炭素施策としてプラスチックごみの分別へ取り組みを。

木下議員は、他自治体では「気候市民会議」など、市民やNPOによる施策の

提案や、市民からの要望をくみ上げている。本市の環境審議会は公募市民2名で活発な議論がされていない。多様な市民の参加で気候危機対策と、脱炭素のとりくみについて市と市民が一緒に検討する場を求めました。市長は「今後は市民、事業者と市が協働する「かすかべ環境ネットワーク」と取り組みを進めていきたい」と答弁しました。

県道10号水路ふた 破損箇所の緊急点検実施

木下議員は一ノ割・薄谷地域、赤沼・銚子口地域の住民から要望が多い、道路側溝や水路のふたかけが無

い危険な生活道路について、整備の現状や住民要望への対応について質しました。

また、ふたかけの要望が多い赤沼地域市道2・16号線や県道10号線の水路ふた

の整備、改善を求めました。

建設部長は「側溝改修の行われていない道路が多数あることは認識しており、要望対応については通学路及び緊急避難通路、交通量の多い路線等優先順位をつけて対応している」と答弁し、「2・16号線については整備の必要性を判断したい。県道10号線の水路ふたは昨年11月に緊急点検を行い、53箇所の破損・段差・ガタつき等を県に報告した。県からは優先度の高い箇所から修繕を実施すると回答があった」と答弁しました。木下議員は、生活道路の安全な通行のため、交通環境整備を積極的に行うことを市長に求めました。

市長は「市内の状況を勘案し整備の必要性・市民要望を踏まえ、生活道路の交通環境整備をすすめたい」と答弁しました。

※PPA方式：長期間契約で民間電力会社が設備を設置・所有・管理した電気を購入・使用する方式
※かすかべ環境ネットワーク：18年設立の市内で行われる環境活動を盛り立てていくパートナーシップ。参加者募集中。

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

9/29(日) ・粕壁東クリニック(内科系) 粕壁東1-7-17TEL812-7000 ・いびきこどもクリニック(小児科) 大枝309TEL735-0854 ・五百木整形外科医院(外科) 中央5-5-19TEL736-9977

10/6(日) ・春日部西口駅前クリニック(内科系)中央1-52-8-2階TEL678-9801 ・浜崎医院(小児科系) 備後西3-8-57TEL745-6000 ・おおつ整形外科(外科系)中央2-17-10昭和ビル3階TEL797-5802

休日の当番医